

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2021年5月1日 212号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



いずれも美味しい魚です。3月7日



水落氏が妻の誕生日(4月12日)を祝福しようと祈りながら釣ったスルビ。4月11日



スルビを釣り上げた水落氏。3月7日



モレニータを飼う生簀小屋。スルビ・ドラド釣りで使用。3月27日

スルビラッシュのフェルト・レダ！

レダ基地の沿岸にスルビが帰ってきました。身長80cmを超えるスルビが次々と釣れています。今ぞ好機到来と、レダ基地スタッフも果敢に大物スルビを目指しています。日陽園を流れる養分豊かな川(レダ・リアチヨ)は、レダ基地の沿岸でパラグアイ川本流と合流します。この合流点付近は好漁場として知られ、ブラジルの観光釣り船や漁船がやって来ます。レダ基地の川岸でも、休憩時間や日曜日などに寸暇を惜しんで竿を振り、スルビ、ドラド、パクー、ボガなどを熱心に釣る姿が見られます。ところが、スルビがめつたに釣れない状態が一昨年まで10年近く続いていました。原因は定かではありませんが、巨大な網を用いての乱獲がその一つとして指摘されたことがあります。スルビは美味であることに加え、小骨がなく食べやすいので人気があり、他の魚よりも高価格で取引されるのです。他方、アマチュアの釣り人たちは、スルビ釣りが慢性的な貧果になって以来、主としてドラドやパクーを釣りの対象とするようになりました。スルビと呼ばれる魚には、虎のような縞模様があるものと、黒い斑点のあるものがあります。後者をピンタードと呼んで区別する場合もありますが、一般にはどちらもスルビと呼ばれます。食感も同じで、食卓で最も喜ばれるのが、このスルビと、ジャウー(マングルジュ)です。黄金色の猛魚ドラドは釣って嬉しい魚ですが、食卓における人気ではスルビが圧倒的に優ります。焼いてよし、揚げてもよし、煮てもよしのグルメ魚なのです。スルビを釣るには、モレニータ(ツビラ、モハリータなどの小魚を生餌にします。投げ込んだら置き竿でもかまいません。スルビが餌を飲み込むと、竿がズルズルと引かれます。1〜2mほど引かせたところで大きくフツキングしましょう。一旦ハリに掛かるとまず外れません。縦横に激しく走りますが、3回ほど猛烈に抵抗すると、少し大人しくなります。大物の引きは強力なので、踏ん張ってください。リールの調整をしないと、超大物にはラインを切られる恐れもあります。口に歯がないので、アゴを掴んでのランディングもできますが、尖ったヒレ先には要注意。縦横無尽に暴れるスルビをランディングするまでのスリルは、猛魚釣りの入門にぴったりです。皆様、レダでスルビ釣りにチャレンジしてみませんか？



池から取り出したパクーの稚魚をコンテナに入れる。3月15日



レダ基地スナップ

販売するパクーの稚魚を池から取り出す。3月15日



ランパル牧場の池にパクーの稚魚を入れる。3月15日



近隣のランパル牧場に準備されていた養殖池。3月15日



養殖池の草刈り作業。3月23日



販売する牛の搬出。3月12日



販売する牛をコラルに入れる。3月10日



アルガロボの実生苗を採取してポットに仮植する。4月6日



川久保君(中央)がエスペランサの村を訪問。3月28日

レダ基地からのビデオメッセージ



今年にはコロナ禍で、新年会や定例集会などが延び延びになってきましたが、ようやく去る4月3日、東京の会場で感染症対策を徹底した上で「レダ開拓22周年新春特別集会」を開催することができました。この集会には、レダ基地滞在者たちからビデオメッセージが寄せられました。会員・支援者の皆様にレダの現場をより近く感じていただくために送られてきたものです。以下に要旨をお伝えいたします。

●上山氏…お早うございます。私は上山貞和といい、鹿児島県出身です。76歳になりました。21年間レダの開拓をしています。「ダンベリー（文先生が受けた獄苦）の代わりと思え」と言われて99年に出発しました。苦労の時は、ダンベリーの牢獄と言いながら歩んでいます。健康の続く限りレダの開拓を続けたいと思います。



上山氏

文先生からは「40日修練を40年間やるように」とのことであり、全力を尽くして頑張っています。毎朝、訓読会をして一日を出発しますが、この訓読会を天の役事と思ひ努力しています。今は現地の労働者と共にタロイモ栽培をしています。また今年からは牧畜も担当していますが、こうして何とか自活できるようにと考えています。毎日馬に乗る訓練をし、トラクターの運転・操作もできるようにしたいと思います。牧場の方はまだまだ開拓初期で、飲料水の問題、電力の問題、通信の問題などがあります。それを一つ一つ克服して自立・自活できるようにしていきます。そして多くの方々がレダに来てくださり、生きた創造の神を体験してくださりますように願っています。

●大和田氏…日本の皆さん、こんにちは。大和田法生といいます。このレダに来て、22年目になります。ここでは第一に上水道の業務を担当しています。きれいな水道水をつくって届けるのが私の仕事です。

二つ目は、食料を買い付けること、そして従業員食堂に毎日必要量の食料を提供すること。三つ目は、清掃業務の管理です。一人の婦



大和田氏

人、その段取り・工程を管理して全施設をきれいに保つこと。これらが私の主な仕事です。新年の抱負ですが、岩澤所長を新しく迎えて、従来のようにただ仕事をバリバリしていくだけではなく、自立と発展が強く願われているので、その方向に沿って頑張っていきたいです。



伊達氏

●伊達氏…皆様こんにちは。私の名前は伊達勝見といいます。勝見というのは「勝利を見る」ということです。レダの地で勝利を見るまで頑張りたいと思っています。1949年9月10日生まれですが、70歳を超えました。レダには開拓初期から何度か来ているのですが、長期に滞在するようになったのは2006年からなので、今年はちょうど15年目になります。私が担当する業務は、まず植樹関係ですね。ここは第一植樹園という最初にできた植樹園ですが、各植樹園に木を植えたり世話をしたり、枯れた木を取り出したり、草を刈ったり、水をやったりします。ま

た新しい苗木を殖やして植える仕事もあり、特に昨年はそれを中心に行い、約300本の苗木を殖やしました。極力この土地に合った木を植える、ということ、ジャトロファ、アルガロボ、アセロラの木などを植えました。そういう土地本来の木は強健です。他所から持ってきた木は、きれいな木もあるのですが枯れやすいので、やはり現地でよく育つ木を中心に植えようとしております。また、マンゴーや、グアバなど、美味しい果実の生る木も植えています。これからレダに来られる方が楽しんでもらえるようにしていければと思っています。

私の担当は、植樹関係の他に、総務的な仕事もあります。毎週作成してお送りしております、写真を中心としたニュースレター「日陽園便り」も、すでに500回近くになりました。何かご意見やご感想がありましたら、お送りいただければそれに従って、より良いものにしていきたいと思います。

今年の抱負は、天然の実生苗を採取したり、種を播いて育てることで、どんどん植えていきたいと思います。二ームの木を中心とした約1000株は



水落氏

何とか全うしたいと思っています。できれば日本から、植樹をはじめ樹木の育成管理、剪定など、経験のある方々がこの場に来ていただければ非常に助かります。まずどういう環境か見ていただけるかな、という方はぜひ長期に滞在していただければと思います。世代交代の時に来ておりますので、若い方々を中心とした新しいレダ造りに共に貢献していきたいと思います。

●水落氏…名前は水落勝といひます。2014年からレダで仕事をしています。職業は木工です。簡単な軽量鉄骨の方もやっています。日本の皆様も、ぜひレダに来てみてください。以上です。（小橋氏、滝川君、川久保君のメッセージを次回に掲載いたします。）

第22回ワンデイセミナーのご案内

本年最初のパンタナール・ワンデイセミナー（一日研修会）を、左記の要領で開催いたします。なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、会場入口で全員に検温を実施するほか、諸対策を徹底いたします。

日時…5月15日（土） 10時受付、16時終了予定

会場…国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟416室（小田急線参宮橋駅歩7分、または渋谷駅西口40番乗場よりバス、代々木五丁目下車）
参加費…2000円（昼食を含む） 当日受付にて

参加を希望される方は、ファックスまたはメールで、①名前②連絡先③紹介者を明記の上、下記の事務局宛てお申し込みください。お問い合わせも同事務局へ。

共催…一般社団法人南北米福地開発協会、NPO法人地球の緑を守る会

プログラム（予定）

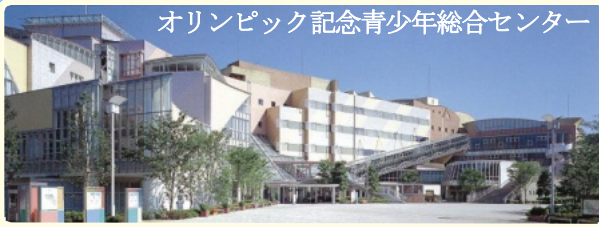
●「提唱者の思想とレダ開拓の歩み」講師…柴沼邦彦理事

●「パンタナールにおける自然林再生と森林農業」講師…高津啓洋NPO法人地球の緑を守る会代表理事

●「クラウドファンディングで家庭移住へ」島田賢二青年局長

●レダプロジェクトの展望…中田欣宏代表理事

●レポート…レダ基地での体験報告



●「クラウドファンディングで家庭移住へ」島田賢二青年局長



島田賢二青年局長



中田欣宏代表理事



高津啓洋講師



柴沼邦彦講師

第21回青年奉仕隊支援のお願い

第21回国際協力青年奉仕隊は、来る7月にパラグアイ共和国チャコ地方のマリア・アウシリアドーラ村での奉仕活動とレダでの体験学習とを主軸に実施します。同村では、公園造り、植樹、文化交流、スポーツ交流などの活動を予定しています。今回は日本からの参加者5名に、レダの日本人青年ボランティア、オリンピックとエスペランサの高校生を含むパラグアイ青年十数名を加えた国際チームを編成しての新たな試みです。



トロパンパ村に完成した美しい公園。2018年9月3日の公園造りは、2018年のトロパンパ村における実績（上の写真）があり、青年奉仕隊の活動を知った方々から、自分たちの村にも来てほしいとの要望が次々に寄せられてきました。今回は公園に木製の遊具を設置します。チャコ地方で広く使用されるケブラッチョ材の場合、金属製の遊具よりも耐久性で優り、無塗装でも100年以上の耐久性があることが知られています。はるか地球の向う側の村の子供たちのため、皆様からご支援をいただければ、より素晴らしい公園の実現と奉仕活動ができるものと思います。



木製遊具見本

今年日本から参加する隊員は、7月8日に国内集合、翌9日出発、7月30日に帰国の予定です。例年通り、帰国後には活動報告会があります。皆様からのご支援をお待ちいたします。ご支援は、下記の口座あてお願いいたします。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>